

2022年8月25日発行

第30号

ぴぽっと 南光台通信

地域生活サポートセンターぴぽっと南光台



VOL.0030

発行： 社会福祉法人つどいの家地域生活サポートセンター「ぴぽっと南光台」
責任者： 三浦 郁美（管理者）
住所： 981-8003 仙台市泉区南光台 3丁目 1-24
連絡先： TEL 022-779-7341 FAX 022-779-7342

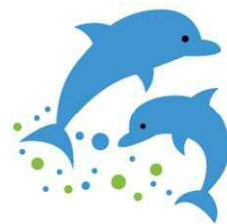


センター長より



暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日が続きますね。

今年の夏は規模縮小や開催方法を工夫しながら各地のイベントや行事も再開し始め、活気が少し戻ってきたように感じました。それと同じくらいに増えていると感じるのが、急な天候の変化です。夏はじわりじわり近づいてくる台風を警戒し、備える季節と思っていましたが、最近は突然の落雷や集中豪雨、長期間停滞する線状降水帯など準備をする暇を与えない天候が多くなりました。



私が小学生の頃は、空にもくもくと大きな雲ができて急に雨が降っても、少し雨宿りをすると再びカンカン照りになるということがほとんどでしたが、20年以上経った今では川の氾濫や土砂災害をもたらす激しい大雨が多くなっています。要因としては30℃を超える真夏日や猛暑日が増えて、海面温度が上がっていることにもあるようで、温暖化の影響が身近に現れてきているのだと感じます。

冬においても平均降雪量は減少している一方、1日あたりの降雪量は増加しているそうです。確かに局地的な大雪や吹雪による被害のニュースも多く聞くようになりました。夏・冬問わずに極端な天候変化が起きやすくなっているようです。

日本は季節の移り替わりがあって、四季折々の情緒を楽しめることが魅力の1つです。春や秋の穏やかな季節が好きという方も多いと思いますが、ここ最近の天候の変わり具合を見ていると、いつか「暑い」「寒い」の2つの季節になってしまうのではないかと心配になってしまいます。

温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO₂)の排出量は、一般家庭では電気使用によるものが70%と断トツです。日本の四季を守る為にも、事業所として個人として電気の使い方を改めて見直していきたいと思いました。

(三浦郁美)

非常勤等職員研修報告



7月1日にオンラインで法人内の事業所をつなぎ、非常勤職員研修がありました。ぴぼっと南光台にはぺんたすの登録ヘルパー、すてっぴ・はうすの介護人、グループホームの世話人が集まり、事務所とサロン室の2グループに分かれて参加をしました。

話したことのある職員も数名いましたが、普段はそれぞれの配属先で業務に当たっているため顔を合わせる機会がありません。それぞれ違った職務内容ではありますが、グループワークの時間に、悩みや支援で自信が持てずにいることなどを意見交換すると、利用者さんとの関係作りにおいて、とても役に立つ話を聞くことができました。



早速、私も実践してみよう!と思ったのは自傷行動が止まる?ミュージカル風声がけです。いつか実践報告が出来たらと思っています。

(すてっぴ・はうす 永沼佳子)

◎自傷行動

刺激に対する過敏さや鈍麻さ、コミュニケーションの困難さ、時間の過ごし方が分からないなどの様々な背景、要因により「頭を床や壁にぶつける」「自分をたたく」「自分の腕を噛む」など。

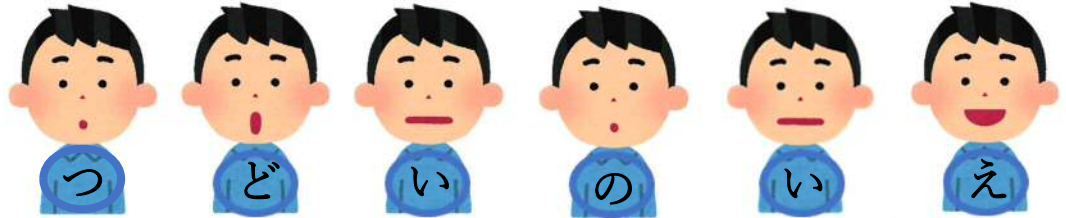
若手職員座談会

ぺんたす：長沢ひかり

7月22日、法人の今後の採用活動に活かす目的で、若手職員による座談会が開かれました。座談内容は、「就活を意識した時期と私の就活」、「つどいの家を知ったきっかけと決めた理由」、「しょうがい分野・つどいの家を学生にもっと知ってもらうために必要なこと」、「採用後のギャップ・今感じていること」でした。

就活については、資格取得のための実習時期に合わせて就活を早く終わらせたいという人もいれば、実習を終えてから就活を始めたという人もいて、就活開始時期は様々でした。つどいの家は採用試験が複数回あり、事情に合わせて試験時期を選択できるのが良い点かもしれません。つどいの家を知ったきっかけとしては、ボランティアやイベント、実習での経験が多くありました。アルバイト依頼のポスターも「掲示されていると意外と見る」という話が挙がり、ポスター掲示の効果も大きいことが分かりました。採用後のギャップでは、「意外と事務仕事が多い」「入職前の事前準備が大変だった」などが挙げられました。このような採用後に感じるギャップが大きくなるように、学生に対して正しい情報を提供することが必要だと思います。

今回の座談会を通して、私自身なぜしょうがい分野に興味を持ったのか、つどいの家で働きたいと思ったのかを思い返す良い機会になりました。まだ社会人になったばかりですが、初心を忘れずに活動していきたいと思います。



介護人連絡会に参加して

介護人：森珠紀



専門知識の無い私にとって、職員さんから頂く情報、他の介護人さんとの情報交換と共有がとても重要になっています。「一番良い方法は？」そんなことを考えながら一番大切にしているのは、利用者さんの笑顔が見たいということ。そのようなことを共有できた連絡会だったと思います。

機会があれば、他事業所の介護人さん達からも日常のお話がお聞きできると嬉しいです。正解のない答えを探しながら、本日の支援も素敵な笑顔のために頑張ります。

介護人：佐々木宏文

自閉症の特徴的行動を当事者の気持ちを交えて勉強しました。その中に虫を見ていて学校に遅刻してしまった話がありました。当事者の気持ちは、ただ虫を見ていたかった、自分にとって心地良い方を取ったのか、恐らく遅刻する事は比較の対象にもならなかったのでしょうか。その話には私は、只々羨ましくて仕方ありませんでした。楽しい事に集中して、他が見えない、ゴーイングマイウェイ、世界的な発明発見をする科学者や芸術家もこのような要素を持っている人がいるのだらうと思います。

私としては、当事者の気持ちを知ると、すてっぴ・はうすでは可能な限り心地良い世界で過ごせるように支援したいという気持ちになります。欲を言えばその中に潜むかもしれない才能の様なものを見つけることができたとも思いますし、当事者を愛おしくさえ感じるので、真っ直ぐな気持ちに惹かれます。歳のせいでしょうか？

今まで
ありがとう
ございました!

すてっぴ・はうす職員

佐藤享子が8月末をもって退職いたします。

「利用者、ご家族、関係各所の皆様には大変お世話になりました。」

ちょこっとコラム～支援について考える～

今回の原稿依頼が来た時、私には書けないと思い、実はお断わりの相談を担当にしました。

何故書けないかと考えると、私は「しょうがい者」という言葉を認めていないからです。

そのきっかけは、もう30年も前の話です。英語の勉強という名目で、カナダのバンクーバーに遊学していた時、私はカナダ人のルームメイトと多くの友人に囲まれ、連日みんなで語り合う刺激的な日々を過ごしていました。ある時の会話の中で、英語では「障害」（ものごとの達成や進行の妨げになるもの：漢字の意味）ではなく「ハンディ」。「障害者」ではなく「ハンディを持った人」なんだ！！「なんて素敵にとらえ方だろう。」と実感したことを覚えています。

私は10数年間、小中学校で様々なハンディを持つ子供たちと関わってきました。もどかしいのは通常学級の子もたちと支援学級の子もたちの関わりが薄い事です。担任の先生でさえハンディを持つ子供たちの生きづらさを理解できないでいるのです。そこで、その頃、ハンディを持った人について、通常学級の子も達にお話していたことを皆様にもお伝えしたいと思います。

「世の中にはいろいろな人がいます。足の速い人と遅い人、計算の得意な人と苦手な人、絵が上手な人と下手な人、動物が好きな人嫌いな人等いろいろな人がいます。同じように移動する手段として歩く人、車椅子を使う人、お尻を使って移動する人などがいます。コミュニケーションの手段としては話す人、手話を使う人、表情で伝える人」など様々です。例えば、嫌なことがあった時、声に出して「嫌だあ。」と言える人は他の人にも分かりやすいですが、道の真ん中に寝そべってしまったり、大声を出したり、時には笑顔が嫌な時のサインだったり、いろいろな表現があります。でも、それは、障害ではなく個性だと私は思います。皆さんが普通にしていると思うことも、ハンディを持つ人にとってはとても大変な努力がいることが多いのです。

今、大変な時代を生きている私たちです。小さな争いを見直し、平和な日常生活が送れるよう心を尽くすのみです。私も自分のハンディを認め、背負い、これからも努力していきたくと思っています。

(すてっぴ・はうす 佐藤享子)



ある日の「ぺんたす」

カピバラ！



入社して半年になりましたぺんたすの松崎です。

ぺんたすでは感染対策を徹底しながら利府イオン、長町モール、泉中央等への外出の支援（移動支援）をしています。

文房具が好きな方、電車の本が好きな方、電車に乗ることが好きな方とそれぞれ好みが違うので、利用者さん一人一人が楽しめるよう心掛けています。

先日、電車で行く利用者さんと初めて八木山動物公園に行ってきました。祝日だったので親子連れのお客さんがたくさんいましたが、密にならないよう人通りの少ない所を歩きながら動物を見てきました。利用者さんはカピバラが見たいということで、記念写真も撮りました！とても素敵な笑顔に元気をもらい、僕自身もとても良い思い出になりました。今後もたくさんの利用者さんが笑顔になれるような支援をしていきたいです。

移動支援ではちょっとしたアクシデントが起こることもあるので、先輩職員さんのアドバイスを思い出しながら、利用者さんとの信頼関係を築いていけたら嬉しいです。（ぺんたす 松崎敏弥）

職員随想 第13弾

ぺんたす
工藤 太



私が他の業種から障害福祉の世界に入って、13～14年になります。
コロナ前は、利用者の方と一緒に横浜の方へ行ったり、山形の山寺へ行ったり、
様々な経験を一緒にさせていただきました。
今でも時折思い出すのは、初めて入浴介助に入らせていただいた方のことです。
その方は言葉で思いを伝えることが難しく、発作の形も様々で一人で入浴介助に
入らせていただくようになるまで、約1ヶ月程度かかりました。

入り始めの頃は、月に3回から4回程度入らせていただいていたのですが、段々とほぼ毎日入らせていただくようになりました。

「言葉で気持ちをうまく表現することが難しい」ということから、意思の疎通ができないかもしれないと、その時の私は考えていました。あるとき、その方の家族の方から、「本人は歌を聴くのが好きなので、入浴の時にぜひ歌ってみてください。」と話がありました。

早速その方が好きな歌を浴槽に入っているときに口ずさんでみると、こちらに興味を示してくれているようでした。初めて気持ちが通じたような瞬間でした。この出来事があった後、今日は何を歌ったら興味を示してくれるかを考えるのが、楽しみになりました。

またお会いすることができたら、「言葉でのコミュニケーションが難しくても、真剣に向き合えば、心は通じるということをお教えてくれてありがとうございます。」とお礼を伝えたいと思っています。

職員コラム～夏の思い出にコメント入れてみた～

ぺんたす 今野 竜佑



写真で一言

夏と言えば風鈴！！
From 農業園芸センター



ぺんたす 川口 雅子



写真で一言

ウォーキング途中で
見つけた夏の景色！



すてっぷ 高橋 和也



写真で一言

君も仮面ライダーだ！



ぺんたす 小原 翔冴



写真で一言

飛ぶ鳥を落とす猛暑



ご近所をちょっと清掃しました



7月25日、ご近所のゴミ拾いをしました。長引くコロナ感染症拡大の影響で、事業所でのイベント等を中止しているため、ご近所の方々と顔を合わせる機会がとても少なくなっています😞

そこで、せめて少しでも地域の中でお役に立つことができないかなあ？と考え、清掃活動を行いました。

短時間ではありましたが、公園とバス通りのゴミを拾いながら、ご近所の方とご挨拶をすることもできました。



今後も、胸に「ぴぼっと南光台」とプリントしたお揃いTシャツを着て実施しますので、ご承知おきください。

介護スタッフ募集（すてっぴ・はうす）

【しょうがいのある方の日中一時支援・短期入所事業】

学校や通所施設が終わった時間から夕方までの数時間や休日の日中、又は、宿泊される方と建物内で一緒に過ごしていただきます。お話し、見守りなどをしながら過ごし、必要な介助をします（トイレ、食事、入浴など）。
※短時間、日中のみ、宿泊のみの勤務、WワークOK

資格 不問

給与 1時間 920円～ ※交通費支給 ※資格手当等あり

例えば：日中5時間×2日/月 + 宿泊1泊×4回/月 ⇒ 81,880円+交通費

しょうがい者向けヘルパー募集（ぺんたす）

【居宅介護・移動支援事業】

しょうがいのある方のご自宅での身体介護（着替え、入浴など）や家事支援。経験や体力に応じ、また、ご都合に合わせてながら月毎のシフトを作成します（変形労働時間制）。

※研修もありますので、未経験の方やブランクのある方もご安心ください

資格 ホームヘルパー2級、介護職員初任者研修修了者、介護福祉士、看護師等いずれか

給与 1時間 1,120円～ ※交通費等支給 ※資格手当等あり

例えば：1日平均5時間×20日/月 ⇒ 112,000円+交通費、駐車場料金などの実費

見学、お話しだけでも！！お気軽にご連絡ください。 《すてっぴ・はうす 高橋 横山》

☎022-779-7341 平日10時～17時

《ぺんたす 今野 川口》

法人ホームページ内

ぴぼっと南光台



編集後記

『ぴぼっと南光台通信』第30号を発行するにあたり、原稿を書いて下さった皆様、ご覧くださっている皆様にご心よりお礼申し上げます。今回は30号ということもあり職員のプライベートをゆるく紹介してみました。ゆるすぎてすみません。

小原